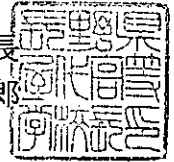


高校教育課長様

屋代高等学校長  
堀金 達郎



### 屋代高等学校への中高一貫教育導入について

本校は平成4年県下で初めて理数科を設置し、理数教育を柱に、学力向上と特色づくりに努めております。平成15年からは文部科学省のスーパー・サイエンス・ハイスクール(以下SSHという。)の指定を受け、大学・研究機関との連携等による先進的な理数教育に取り組み、課題研究が全国レベルの科学コンクールで高い評価を受けるなど、優れた成果を上げ、県内の理数教育をリードしてまいりました。

中高一貫教育は中教審の答申を受けて制度化され、平成11年度から全国で設置が始まりましたが、本校でも、理数教育を発展させ、特色づくりを進めるために、平成15年からフロンティア委員会で研究を始め、毎年学校を視察し職員会に報告がなされております。

県教育委員会の第1期高校再編計画(案)においては、「併設型を東北信と中南信に1校ずつモデルケースとして設置する」方針と4区に新しいタイプの学校づくりを検討する計画が示されております。また、昨年度、4区各高校のPTA・同窓会役員及び市町村教委、中学校長会・PTAを含む学識経験者等からなる「旧第4通学区の高校教育を考える会」では、各校の将来像の検討が重ねられ、2月には、本校への併設型中高一貫教育の早期導入について県教育委員会に要請されております。

このような動きの中、本校では、中高一貫教育の導入について、職員会において、フロンティア委員会から調査研究報告を受け、議論する形で検討を重ねてまいりました。

その結果、併設型中高一貫教育を導入し、そのメリットを生かして、下記の基本的な考え方にに基づき、本校教育の更なる充実・発展を図るという方向で意見がまとまりました。

つきましては、本校への併設型中高一貫教育導入について検討していただきますようお願い申し上げます。

なお、このことについて、本校では、様々な機会をとおして関係者からの意見をお聞きしご理解・ご協力をいただけるよう努力してまいりたいと考えております。教育委員会におかれましても、地元の関係者等の声を十分にお聞きいただき、検討を進められるようお願いいたします。

### 記

#### 1 理数教育の充実・発展

- 将来の科学技術を担う理系の人材や、確かな科学的リテラシーをもった文系の人材を、6年間をかけじっくり育成
- 理科や数学が大好きで、科学的探究心や実験的精神に富む生徒の育成に重点
- 理数科やSSHで培ってきた優れた教育資源の活用

#### 2 激しい変化の時代にたくましく「生きる力」を育む教育の推進

- 豊かな人間性や社会性、高い倫理観、コミュニケーション能力等を育み、社会に貢献できる人材を育成
- 個性的な自立を促すキャリア教育
- 6年間の継続的な部活動も可能